

認定NPO法人アンケート

法人名：特定非営利活動法人さいたまチャイルドライン

Q 活動している主な事業について教えてください。

- ・18歳までの「子ども電話(電話・チャット)」の開設事業
- ・「子ども電話」に関することや子育て支援に関わる情報提供事業
- ・会の事業に携わるスタッフの研修事業
- ・子どもたちの環境整備のため、大人の学習の機会提供事業
- ・「子ども電話」が受け止めた子どもたちの声を社会化し、子どもたちに関する諸政策に反映させるための政策提言や、財政支援などの社会基盤の整備
- ・その他、子どもたちが生き生きと暮らせる社会づくりを目的とする社会づくりを目的とする諸々の活動とネットワークづくり

※詳細は当法人のホームページをご覧ください。活動の性質上、非公開の部分があります事をご理解ください。

Q 認定を取得しようと思った理由を教えてください。

- ・認定であることで、社会的に信頼を得られること
- ・実際に活動に参加する人や支援してくれる人の自信や誇りの拠り所になること
- ・寄付してくれた人に、税制上の優遇措置があること

Q 認定取得までに苦労された点やエピソードをお聞かせください。

認定取得に向けて、説明会に行き、資料を読んで・・・理解できないということが分かりました。日本語なのに、意味が分からないというのは前途多難、本当にできるのかなと不安を感じました。言葉の意味も矢印の範囲も「それは何？」の連続でしたので。事務局としては「だれかやって！」と投げ出したくなかったのですが、そうもいかず。

わからないことは教えてもらおうと決めて県庁まで行き、共助社会づくり課の方に説明を聞き、書類を書いたら見ってもらって、また直してもう一度見ってもらう、を繰り返す。やっと書類を提出し、現地調査、そこでも不備が見つかって直し・・・。

それでも「こういう活動をしている団体こそ、認定をとってほしいと思いますよ」と言ってもらえたことが、うれしくて頑張ろうという気持ちになりました。認定取得の通知が届いたときには感動(びっくり、すごいかも！という気持ち)でした。

Q 認定を取得されたことで何か変化はありましたか。

「認定のNPO法人です」と名乗ることができることの心理的な余裕ができたこと。寄付に対しては実際には期待ほどの効果はないようです。もともと寄付して下さる方は、活動そのものに賛同をいただけるからであって、税金が問題とはしていないからだろうと考えています。それでも、「頂いた寄付金は確定申告していただく控除対象になります」と言えるのは、寄付をお願いする側として気持ちが楽になります。

Q 多くの方から寄付を集めるためにどんな工夫をされていますか。

この点については、最も悩むところです。現在は「人から人へのお願い」で、賛助会員を増やしていこうとしていますが、厳しい状況です。継続して支援をしてくれる人や団体がある一方で、「今年限りで」と言われることもあり、新しく支援者になってくれる人をどう見つけていくか、課題です。

Q これから認定等を取得したいと思っておられる NPO 法人へのアドバイスをお願いします。

わからないことばかりでも大丈夫です。じっくりと準備をしていけばいいのですし。私たちは、共助社会づくり課の担当の方に何度も、なんでも聞くことができました。

(記入日:平成31年2月21日)